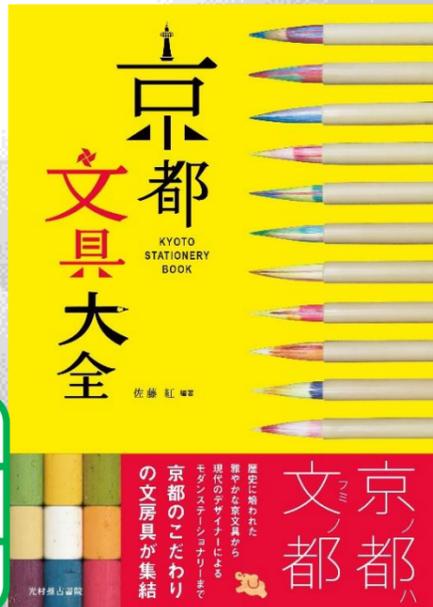


# 12月新着おすすめ本



## 『京都文具大全』

佐藤 紅 著

(光村推古書院)

歴史に培われた雅やかな京文具から、現代のデザイナーによるモダンステーションナリーまで。京都のこだわりの文房具が集結。  
(「BOOK」データベースより)

589.73

KI

## 『世界でもっとも貧しい大統領ホセ・ムヒカ 日本人へ贈る言葉』

佐藤 美由紀 著 (双葉社)



289.3

MU

ベストセラー『世界でもっとも貧しい大統領ホセ・ムヒカの言葉』から1年。“質素の哲学”を貫くウルグアイ第40代大統領ホセ・ムヒカに我々が生きるためのヒントを聞きたく、現地取材を敢行。心に響く「リアルな言葉」が満載!!秘蔵写真掲載!ベストセラー第2弾!!  
(「BOOK」データベースより)

483.3

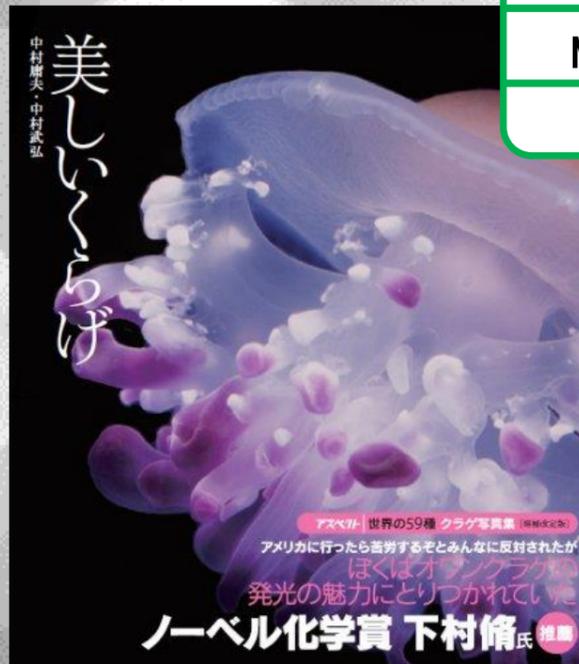
NA

## 『美しいくらげ』

中村 庸夫 著

(アスペクト)

2009年に発売した「ライトボックスシリーズ くらげ」の増補改訂版。人気のくらげ写真集に新たな写真を追加して発売します。  
59種類のくらげの美しく不思議な世界を楽しめる一冊。  
(Amazon.co.jpより)



## 『英語でおしゃべり スモールトークに強くなる』

コスモピア編集部 著 (コスモピア)



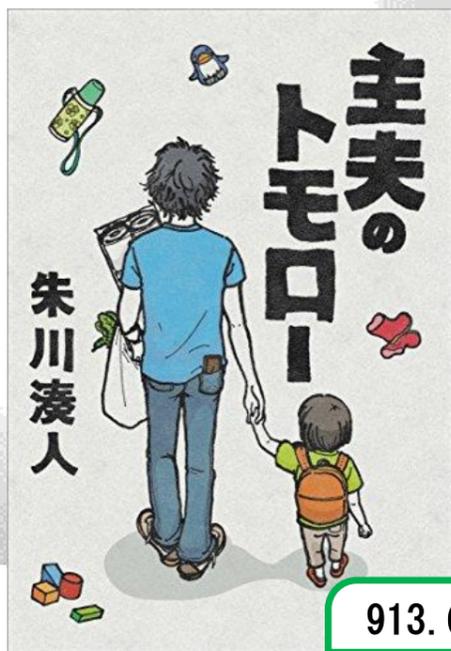
837.8

EI

雑談レベルで何を話したらよいか迷ってしまう方へ!共通点を早く見つけて、相手とよい関係を作ろう!  
(「BOOK」データベースより)

## 『主夫のTomorrow』

朱川 湊人 著 (NHK 出版)

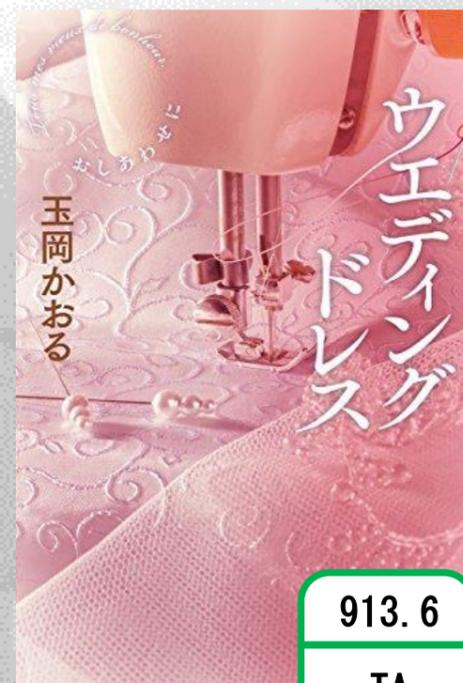


913.6

SI

一流のインテリアデザイナーを目指して働く妻を支え、家事と育児をこなす“主夫”齊藤知朗。自らも作家を志し、家族の幸せと夢を追い求めて日々奮闘するTomorrowに立ち上がるのは、主夫に対する社会の壁。出会うママ友・パパ友たちもまた一筋縄ではいかない家庭の悩みを抱えているものの、Tomorrowはつまづきながらともに一喜一憂して全力で向き合う。やがてTomorrowが導き出す、愛する妻と娘との「家族のかたち」、そして、現実と夢との折り合いとは—。著者渾身のハートフルストーリーとユーモアで描く、胸を打つ新たな家族小説。

(「BOOK」データベースより)



913.6

TA

## 『ウエディングドレス』

玉岡 かおる 著 (幻冬舎)

世界中の女性に愛されるウエディングドレスを制作し、国際的なファッションデザイナーとして活躍する佐倉玖美。草分け的な婚礼貸衣装業を展開し、結婚式のひとつの様式を築いた服飾研究家の田代窓子。生い立ちも性格も体つきも対照的な女学校の同級生。「夢」と「自立」をめぐる女たちのレジスタンス!

(「BOOK」データベースより)

## 『サイレント・ブレス』

南 杏子 著 (幻冬舎)

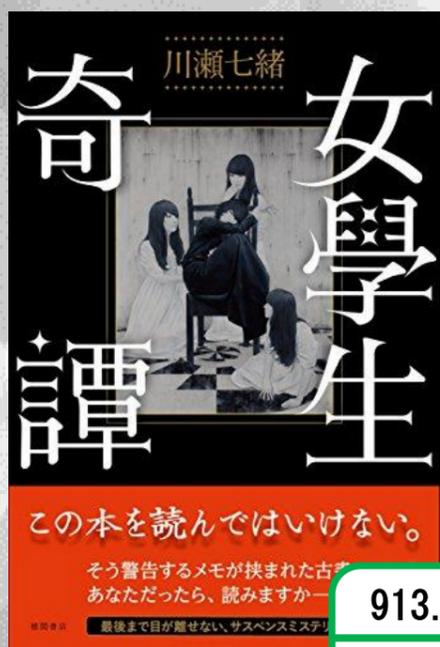


913.6

MI

## 『女學生奇譚』

川瀬 七緒 著 (徳間書店)



913.6

KA

フリーライターの八坂駿は、オカルト雑誌の編集長から妙な企画の依頼をされる。「この本を読んではいけない…」から始まる警告文と古書を、竹里あやめという女が持ち込んできたのだ。その古書の本来の持主である彼女の兄は数ヶ月前に失踪、現在も行方不明。このネタは臭う…八坂は、タッグを組むカメラマンの篠宮、そしてあやめとともに謎を追う。

(「BOOK」データベースより)

大学病院から、「むさし訪問クリニック」への“左遷”を命じられた37歳の水戸倫子。そこは、在宅で「最期」を迎える患者専門のクリニックだった。倫子はそこで死を待つだけの患者と向き合うことの無力感に苛まれる。けれども、いくつもの死と、そこに秘められた切なすぎる“謎”を通して、人生の最後の日々を穏やかに送る手助けをする医療の大切さに気づく。そして、脳梗塞の後遺症で、もう意思の疎通がはかれない父の最期について静かな決断を下す。

(「BOOK」データベースより)